奈良市議会議員
Vol.6　冬号

ひぐち清二郎議会報告

＜12月議会を終えて＞

　１２月議会では、市議会議員7人の会派※を代表して、初めての代表質問をおこないました。代表質問では６０分の時間を使い、市長などに対して質問がおこなえます。私は、市民の皆さまの安心・安全な暮らしをいかにして守っていくのかの視点から、６つのテーマ（１財政、２教育、３防災、４福祉、５市役所機能、６子育て）について、市長・教育長に質問をおこない、最後に意見を述べました。議会での質問は、直接市長に意見を述べる事ができる重要な機会ですので、今後も皆さまの声をしっかりと届けてまいります。

　また、１２月議会では、市立幼稚園・小学校・中学校へのエアコン整備に関する補正予算が通り、夏場に向けたエアコン整備が進められています。

※会派とは、基本的な考え方などが一緒であるグループ

１．財政（市長へ質問）

質問：今後も大規模な事業が予定されているが、中長期の財政見通し、財政健全化に対する考えは。

市長答弁（要旨）：

①地方財政制度や税制など、国の施策の影響を受けることから、中長期の財政見通しを示すのは難しい。

②受益者負担の適正化や事務事業の見直しを図り歳入歳出の改善を進めるなど、財政健全化を強力に進めていく。

今後予定されている大規模事業
（市役所本庁舎の耐震化）

意見

①道路、公園管理に関する市民の皆さまからの相談は多く、必要な予算付けと実施体制の確保を要望。

②市民の税金は、市民のために使われるべきであり、観光客の皆さまが利用される施設などの整備は、受益者負担の適正化の観点から、観光客の皆さまにも費用を負担して頂くべきと考える。

４．福祉行政（市長へ質問）

質問：医療と介護の繋ぎ目が生じていないか。地域包括支援センターの活用は。

市長答弁（要旨）：

①医療と介護が連携し、継ぎ目のない福祉サービスを展開していくことが非常に重要であり、奈良市在宅医療・介護連携支援センターを新たに開設した。

②医療と介護の継ぎ目のない福祉サービスの展開に向けて、地域包括支援センターとも更に連携を図っていく。

地域包括支援センター

意見

・更なる地域包括支援センターの機能強化を図るために、基幹型の地域包括支援センターの早期設置を要望。

その他の代表質問項目

2．教育行政（教育長へ質問）

質問：少人数学級、いじめ対応支援員、特別支援教育支援員見直しによる影響、状況は。

3．防災行政（市長へ質問）

質問：避難所開設の課題、地域との連携は。

5．市役所機能（市長へ質問）

質問：市役所耐震化、組織見直しの課題は。

6．子育て支援（市長へ質問）

質問：少子化対策の取り組みに対する考えは。

おもな活動報告

- 12月定例議会出席（代表質問実施）
- 観光文教委員会出席（質問実施）

【質問内容】
①バンビホームのPC設置、②特別支援教育の取り組み、③北部図書館の体制、④登下校見守りシステムについて

- 議会運営委員会出席
- 補正予算等特別委員会傍聴、市民環境委員会傍聴
- 市庁舎耐震化に向けた全員協議会出席
- 市政勉強会出席

（性的マイノリティ、平松地域のまちづくり、エアコン補助、事業系ゴミ手数料など）

- 子ども安全の日出席
- 北部図書館視察
- 富雄南中学校区少年指導協議会出席
- 運動会出席（三碓幼稚園、三碓小学校、富雄南中学校）
- 杵築神社、添御県坐神社秋祭り参加
- 富雄南中学校草刈り、三碓小学校稲刈り参加
- 防災フェスタin富南参加
- 学園大和町防災訓練、もちつき＆交通安全教室参加
- 青パト同乗による下校時のパトロール

皆さまから頂いた声を4コマ漫画にしました。
今回は『議会での質問』についてです。

次回につづく～

奈良県が進める県立高等学校適正化実施計画に関する対応

①「県立高等学校適正化実施計画（案）の議決の延期と説明を求める意見書」を奈良市議会にて採択（２０１８年6月25日）

②「県立高等学校適正化条例を9月定例県議会で議決せず、関係者の理解を得る丁寧な説明をつくすこと、県立奈良高校の耐震化をただちにおこなうことを求める、緊急アピール（声明）」を奈良市議会議員（有志22名）で表明（２０１８年9月25日）

奈良市議会議員　ひぐち　清二郎
〒６３１－００４１　奈良市学園大和町５丁目１９７－２０６
ＴＥＬ　０７４２－５１－３１５５／ＦＡＸ　０７４２－５１－３１５４
Facebook【ひぐち　清二郎】で検索